

# 平成19年度 小売価格調査結果のお知らせ

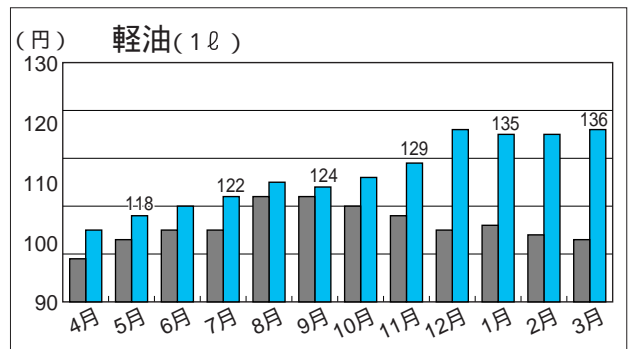
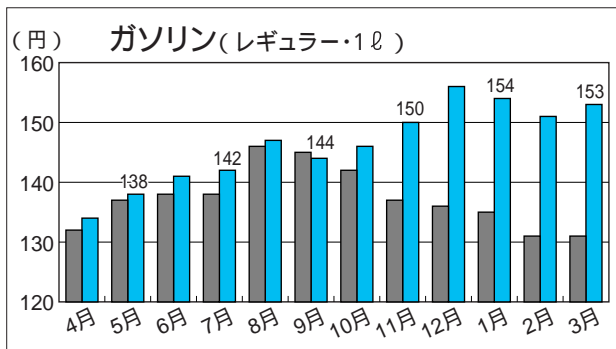
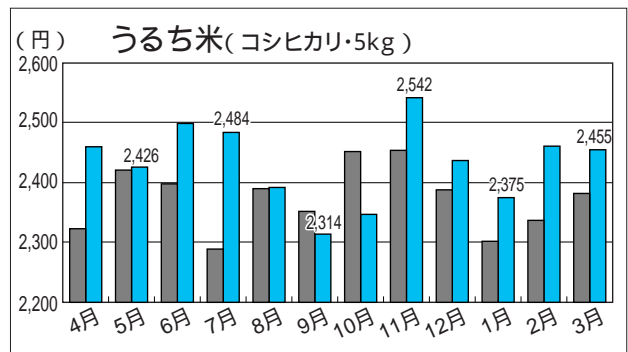
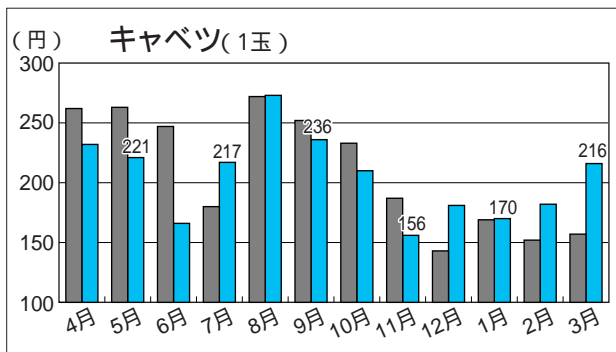
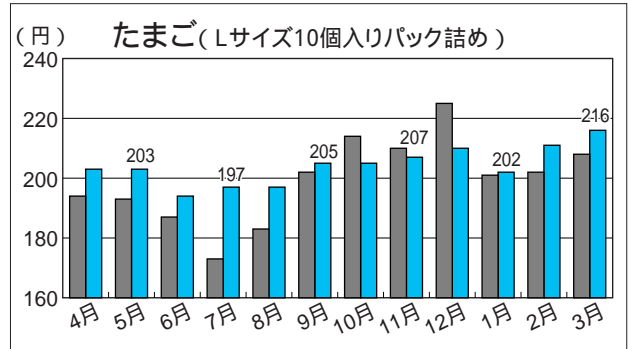
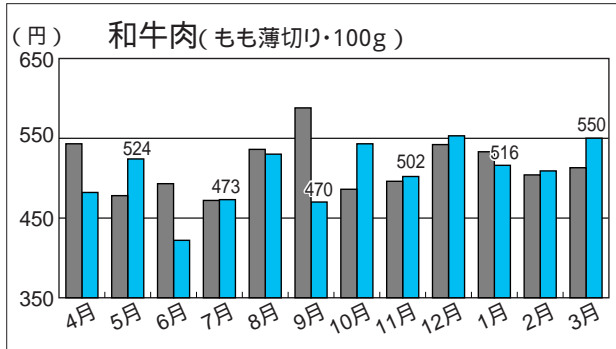
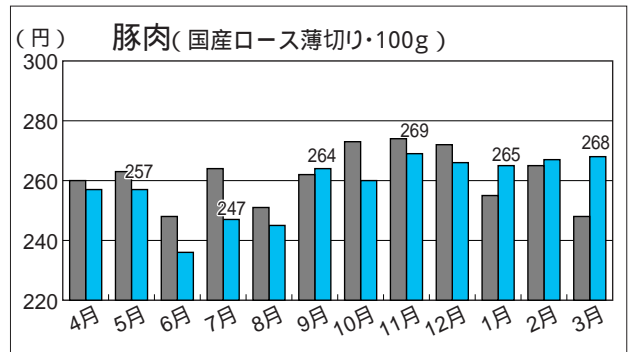
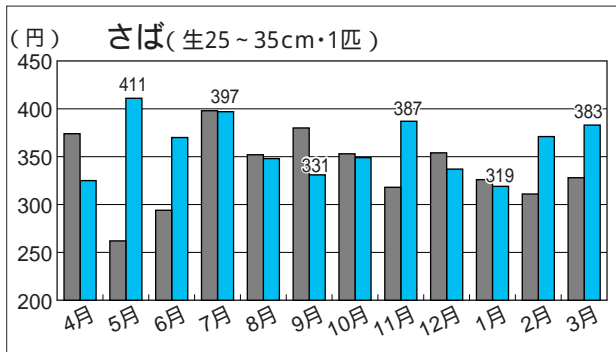
市では、市民の皆さんの中から20人の方を消費生活モニターに委嘱し、市内で、毎月、生活関連商品の小売価格調査を実施しています。

下記の表は、平成19年度の小売価格調査結果(一部の商品)を平成18年度と比較したものです。

また、月々の調査結果および消費生活に関するトラブルの事例などは、市のホームページでお知らせしていますので、日ごろの生活の参考にしてください。消費生活や毎日の暮らしのことで疑問に思うことがありましたら、気軽にお尋ねください。

《問合せ》生活環境課「くらしの相談室」 ☎23-5304

■平成18年度 ■平成19年度



グラフの中の数値は、平成19年度の奇数月の金額です。

# 子どもの救急

～こんなときどうする～

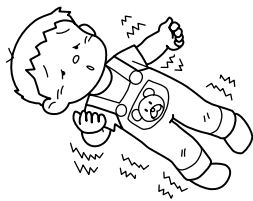
2

## 「けいれん」



子どもの発熱、けいれん、咳、嘔吐、下痢などの場合の対処法やお医者さんへのかかり方、救急車の利用などについて、公立豊岡病院総合診療科の山田博之先生に、5回にわたって連載していただいています。  
今回は「けいれん」についてです。

目の前で子どもがけいれん発作(ひきつけ)を起こせば、誰でも動揺してしまうものです。そんな時、すぐに救急車ではなく、まずは冷静に対処し、病院受診のタイミングを間違わないようにしてください。



### 《救急受診のタイミング》

けいれん、ひきつけには、さまざまな発作の形があります。手足をつっぱり、白目を向き、呼び掛けても反応しないなど、初めて見ると誰もがパニックに陥ります。

けいれんには、経過を見て余裕を持って対処できるけい

れん(良性のけいれん)と、緊急治療が必要なけいれん(危険なけいれん)の2種類があります。

それらを見分けるのは難しいと思いますので、まずは、すぐに救急車を呼ぶ必要がある危険なけいれんを覚え、またけいれん発作時の応急処置を学んでおきましょう。

見分ける3つのポイントは次のとおりです。

呼吸の状態

皮膚・くちびるの色(青白くないか?)

けいれんの持続時間

まずは、の呼吸・循環のサインと言われるものが最も重要です。

けいれんは、病院にたどり着けば薬を使って落ち着かせ

ることができません。呼吸が弱い、息をしていない、くちびるが青白いといった症状は、人間の中枢である心臓、肺、脳などに障害が生じている可能性があります。救急車をすぐに呼びましょう。

けいれんのうち、多くを占めるのは、「熱性けいれん」という良性のけいれんです。熱の上がり始めに見られることが多いのですが、10分以上続くことはかなりまれです。

そのため、のけいれんの持続時間が10分以上の場合は、危険なけいれんである可能性が高く、すぐに救急外来を受診しましょう。

それ以外の場合は、基本的には次の対処法を参考にし、落ち着いてから病院受診すると考えてください。

ただし、初めてのけいれんの時は必ず受診するようにしましょう。基本的にはけいれんが続いていけば救急車で、

治まっていれば自家用車でのいった感じで良いと思います。



### 《けいれんの対処法》

けいれんの対処の4つのポイントには次のとおりです。

安全を確保し、楽にしてあげる。

口の中にものを入れない。状況を事細かにメモしておく!

パニックにならず冷静に。けいれんは、いつどんな状況で起こるか予想がつかません。発作が起きたときは、まずは子どもを安全な場所に移し、ケガなどをさせないようにしましょう。

衣服やベルトは緩めて、楽にしてあげましょう。また口の中に物を入れて舌を噛まないようにする親を見かけますが、窒息の恐れがあり危険です。絶対にやめてください。病院受診時にはけいれんが治まっており、意識も比較的しっかりしているという状況によく遭遇します。

医療者としては、発作の状

況、経過を事細かく知れば知るほど正しい診断ができます。次の5つのことを把握しておきましょう。

持続時間

手足のつっぱり方(左右対称かどうか)

呼吸の状態、くちびる・皮膚の色

熱の有無

初めてなのか など

これらを把握するにはパニックにならず冷静にするのが一番大切ですが、これが一番難しいでしょう。しかし、あらかじめ知識を身に付けておくと、対処の方法は違ってくると思いますので、これを機会に学んでいただければと思います。



分からないこと、聞きたいことがあればメールしてください。

メールアドレス

shoun199@yahoo.co.jp

《問合せ》公立豊岡病院総合診療科 ☎ 22・6111